

令和3年(2021年)三条市議会第3回定例会請願文書表

受理番号	第 16 号	受理年月日	令和3年9月8日
件 名	コロナ禍に苦しむ人々に食料を支援する施策を求める請願	請願者の住所及び氏名	
紹介議員	西 沢 慶 一 君 馬 場 博 文 君		
請 願 文			
<p>【請 願 理 由】</p> <p>長期化するコロナ危機の中で、営業自粛による中小業者の経営危機や労働者の解雇などが広がり、戦後最悪の不況に見舞われています。収入減で一日一食に切り詰めるなど、食べたくても食べられない人たちが増えています。</p> <p>全国で取り組まれている食料支援の取組やフードバンクには、職と住まいを失い、食べることにすらまならない人々が多数訪れ、米をはじめとする食料の配布が歓迎されています。</p> <p>その一方、米をはじめとする農産物の需要が減少し、過剰在庫による価格低迷に農家が苦しんでいます。米では需要減を理由に史上最大の生産量の削減が実施されています。食べられない人々がいる一方で米を作らせない、こんな矛盾はありません。</p> <p>アメリカは昨年、余剰になった農畜産物を買上げ、生活困窮者への食料支援に提供したのに続き、今年も低所得世帯やシングル家庭、貧困高齢者への食料配布補助など支援政策を強化しています。</p> <p>日本では農林水産省が政府備蓄米を子ども食堂に無償提供していますが、食育の範囲の微々たる量に限られています。これではコロナ禍で苦しむ人々を救済することはできません。</p> <p>今、コロナ禍の中で増えている生活困窮者への支援の拡充を求める声が与野党を超えて強まっています。</p> <p>今こそ、政府の責任で行き場を失った農産物を、困窮する国民に提供する食料支援策を実施する時です。以上の趣旨から、下記事項についての意見書を政府関係機関に提出することを請願します。</p> <p>【請 願 事 項】</p> <p>1 コロナ禍に苦しむ人々に食料を支援する施策を講じてください。</p>			

付託委員会

経済建設常任委員会